

家庭学習の手引き

栗野小学校

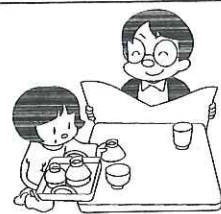
1. 家庭学習の手引きについての考え方

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭と連携することで、より確かに定着するのではないかと考えます。

そこで、家庭学習の手引きを作成することとしました。保護者の皆様には、児童と一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

2. 家庭学習の手引きを通して育てたい児童の姿

生活時間の有効な使い方を身に付けた児童
テレビやゲームの時間より、勉強や読書、手伝いの時間が多い



家庭学習の習慣
や方法を身に付
けた児童



基礎的・基本的
な学習内容を身
に付けた児童



3. 基礎的・基本的な学習内容とは

おおまかに言って、学校で学習する内容（教科書にのっている内容）です。特に、次のような学習内容は学年間でつながりをもっていますから、学習した学年で確実に身に付けておかないと次の学年で困ることになります。

- 算数の教科書に出ている程度の算数の問題を解くこと
- 教科書に出ている漢字を読んだり書いたりすること
- 教科書に出ている程度の文章をすらすら読むこと

4. 家庭学習の習慣や方法とは

(1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ①毎日必ず学習する（時間を決めて）。
- ②テレビを見ながら、音楽を聴きながらはしない。
- ③机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。
- ④学年の発達段階に応じて、家庭学習カードを使用する。

(2) 学年の発達段階による家庭学習の望ましい姿

低学年	中学年	高学年
学校の宿題ができる。	学校の宿題が確実にできる。	宿題がなくても、基本の学習ができる。
毎日、家でも学習しようという気持ちになる。	宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。	自分の興味や必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

学年×10分（例えば6年生なら6×10＝60分）
あくまでめやすです。

(4) 家庭学習の方法（こんな学習をしたらどうでしょう。）

国語	算数	社会・理科・総合 音楽・家庭・図工・体育
・漢字練習 ・漢字ドリル ・意味調べ ・日記 ・音読・視写 ・テストの問題をもう一度解く。	・計算練習 ・算数ドリル ・教科書の問題 ・百マス計算 ・テストの問題をもう一度解く。	・勉強したことに関係のあることを、資料などで調べる。 ・授業で学習したことを、もう一度ノートにまとめる。 ・楽器（リコーダー・鍵盤ハーモニカなど）の練習をする。 ・なわとび、持久走などの運動をする。
日常生活	・読書をする。 ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べる。 ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べる。 ・小学生新聞など、新聞に目を通してみる。 ・自然や生き物とふれあい、観察してみる。 ・詩や歌の暗唱をする。（例えば百人一首・遊び歌）	

5. 各学年の家庭学習について

各学年の担任が考えていることや、重点としている内容や方法などについて書いてあります。各学年の家庭学習について、学校でお子さんに指導するとともに、連絡帳に指導した資料を貼りましたのでご活用ください。